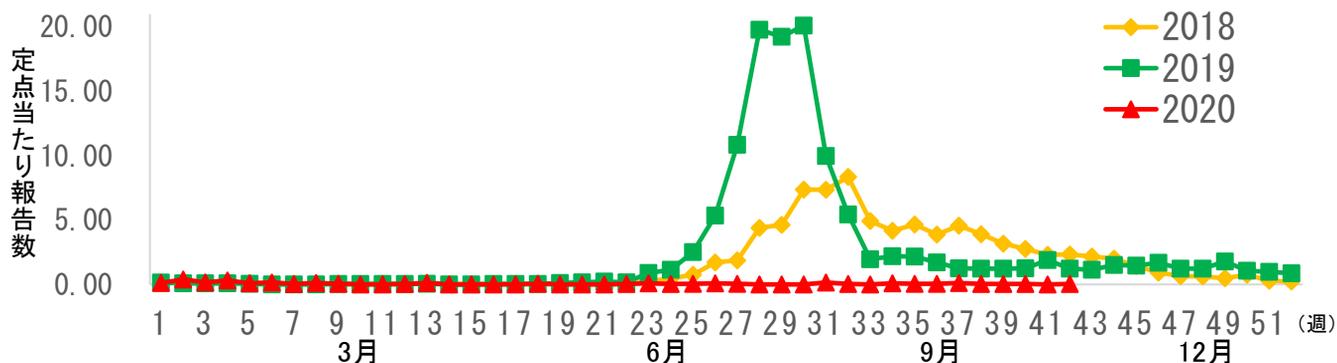


県内における夏季に流行する主な感染症の発生状況について

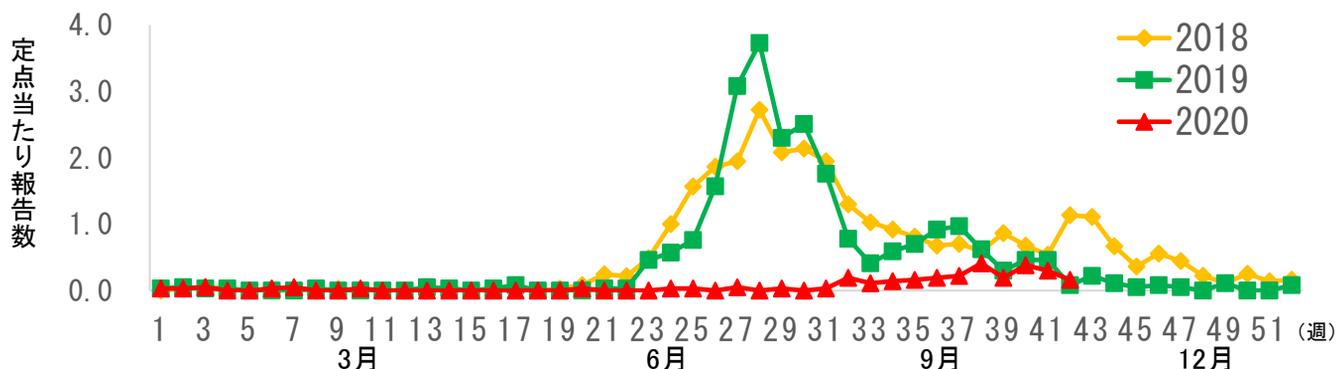
手足口病

主な症状は口の中や手足などにできる水疱性の発疹で、5歳以下の乳幼児に多くみられる。



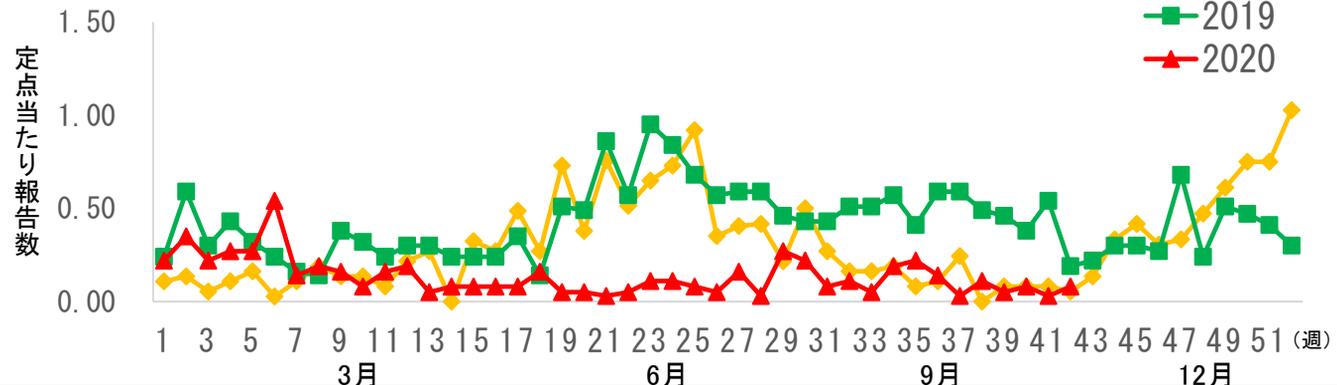
ヘルパンギーナ

主な症状はのどの痛み、のどの腫れで、5歳以下の乳幼児に多くみられる。



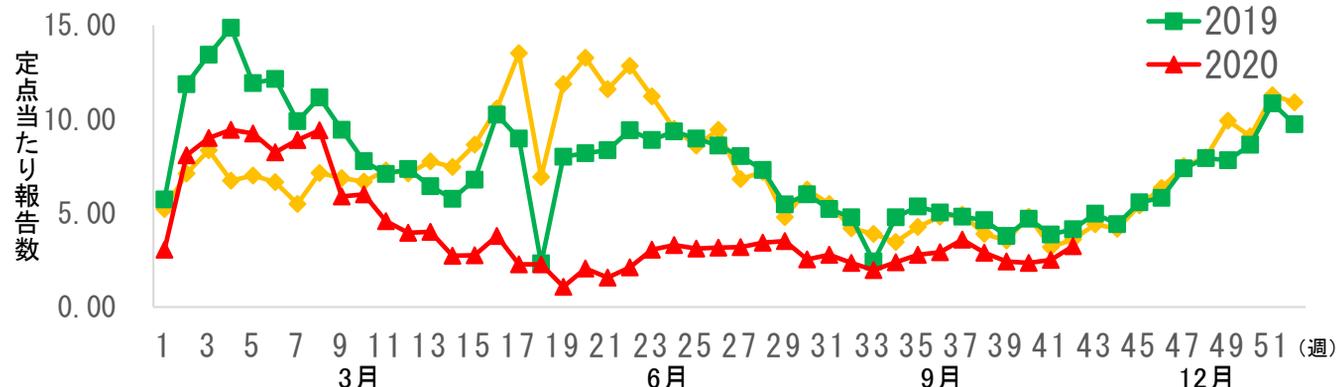
咽頭結膜熱 (プール熱)

主な症状は発熱、のどの痛み、結膜炎で、プールを介しての感染がみられる。



感染性胃腸炎

主な症状は腹痛、下痢、嘔吐で、夏は細菌、冬はウイルスが原因となることが多い。



※2019年、2020年（42週まで）は速報値